

第54回

【地域別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成26年2月15日

○会 場 八幡町コミュニティセンター

武蔵野市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そして屋外において実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」、「地域で支えあう福祉のまちづくり」、「地域で育てよう！武蔵野の子ども」、「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生やシニアの方、外国人の方たちとは、まちづくりや活躍の場などについて意見交換を行いました。

今回は、八幡町コミュニティ協議会との共催により、「第54回市民と市長のタウンミーティング」として、地域の課題やコミュニティについて話し合いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成26年2月15日（土）
午後2時～4時
2. 場 所 八幡町コミュニティセンター
3. 主 催 八幡町コミュニティ協議会
武蔵野市
4. 参加者数 29人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
八幡町コミュニティ協議会 委員長 山下 俊郎
6. 司 会 八幡町コミュニティ協議会 伊藤さつき 北村淳子
市民活動推進課長 北原 浩平
7. テ ー マ 『新コミセン1周年を迎えて』『安全・安心のまちづくり』

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 「新コミセン1周年を迎えて」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. コミセンのちらし等の掲示について.....	3
2. 北ホールの利用について.....	4
3. コミセンの看板（サインボード）の設置について.....	8
4. コミセンの広報活動について.....	9
(3) 「安全・安心のまちづくり」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. 町内会・近隣の支え合い・職員の対応について.....	11
2. コミセンの役割・安全の課題・玉川上水等の計画について.....	13
3. 中央公園等、車止めの鍵の管理について.....	14
4. アンテナの設置・防犯カメラの設置・除雪について.....	15
5. 中島飛行機変電室の保存について.....	16
6. 防災対策について.....	17
(4) 閉会のあいさつ	18
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	20
3. アンケートでいただいた感想	24

— 付属資料 —

第54回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆様、こんにちは。足元の悪いところ、ご参加いただきましてありがとうございます。

2週連続で大雪になるとは思いませんでした。ともに週末の大雪ということで、通勤には余り混乱がなかったかと思いますが、昨日は市役所で警戒体制をとりまして、職員も二十数名、夜間の警戒に当たっております。また、今朝からは班を組み、各地域に除雪部隊を派遣しております。皆さんも今日は朝方から除雪等をされていたと思いますが、雨が降って雪が重たくなっています。しかも排水溝に雪が詰まってなかなか流れないという課題もあります。もうしばらくすると、少し雨が降るそうなので、このままですと、また明日の朝、道路が凍る可能性があるので、しばらく注意が必要かと思っております。

さて、タウンミーティングは通算、第54回目を迎え、八幡町コミセンの皆様との共催としては3回目になります。平成18年、21年とやらせていただき、前回からは5年ぶりということになります。

21年のタウンミーティングでは新コミセン建設についてのいろいろな要望をいただきました。その要望も踏まえて、一昨年この新コミセンができて、そして1年余り経過をしました。また、1年を経過していろいろな課題があると思っておりますので、課題を出し合いながら、よりよきコミセンの姿を追求していただきたいと思っております。

この地域では、コミセンの新築に伴い、今までコミセンの補完的な機能を担っていた北ホール役割が若干変わってきております。昨年からは共同運営からコミセンが抜けましたので、スバルと市の共同運営という他ではなかなか見られない運営方法ですが、これからどうするか議論しなければいけないということで、皆様からの要望もいただいているところであります。

現在、利用されている方から存続してほしいという希望は当然伝わっており、陳情もいただいております。陳情については、議会審議を見守っておりますが、どういう形での運営が可能なのか、皆様のお気持ちを十分に汲みながら、スバルと話し合いを進めているところです。その結果をなるべく早目に皆様にお伝えして、またご意見を聞く機会も早々に設けていきたいと思っております。

いずれにしましても、この地域が皆様にとってより一層暮らしやすい町になればと思っております。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。



【八幡町コミュニティ協議会 山下俊郎委員長】



今日は、朝9時からコミセンの運営委員が総出で、慣れない雪かきを先週に引き続いて行いました。さらにここでひと踏ん張りして、皆様と一緒に意見交換をさせていただけたらと思っています。

今、市長からお話のあったように、今日の最初のテーマは、新コミセン1周年を迎えてです。昨年12月1日に、ちょうどこちらに移転して1周年を迎えました。この1年を振り返ってみますと、この新コミセンの建築については、各先輩たちがいろいろな思いで陳情してきて実現したわけですから、地域の皆様の期待に応えるべく、さまざまな活動をこの1年間やって

きました。

しかしながら、実際に住民の方はどう感じているのかということや、あるいは2年目に入るこれからの八幡町のコミセンは、どういう役割を担っていくのが皆様のお考えに叶っているのかということで、意見交換させていただけたら大変ありがたいと思っています。

もう一つ、安全・安心なまちづくりというのは、ちょうど、5年前に当コミセンで行ったタウンミーティングでもテーマとしてあがりました。ただ、この5年間、東日本大震災もあり、また、いろいろな事件や事故が最近身近なところで起きていますので、当然防災や防犯に対する意識は、私も含めて5年前とは大きく変わってきていると思います。後半は改めて安全・安心なまちづくりのための皆様が思っていること、あるいは要望されることなどについて、意見交換させていただけたら大変ありがたいと思っています。

4時までという限られた時間ですが、お時間の許す限り活発な意見交換をさせていただいて、これからのコミュニティ活動に少しでも役立てられたらいいかと思っていますので、今日はよろしくお願いいたします。

(2)「新コミセン1周年を迎えて」をテーマにした意見交換(要旨)

1. コミセンのちらし等の掲示について

【ご意見】

新しいコミセンになってからの活動は、本当に拍手喝采だと思っており、とても楽しみにしているが、なかなか参加できないことが残念だ。

参加にはPRが必要である。利用者懇談会でもお話ししたが、なぜこのコミセンには外に掲示板がないのか。外に掲示板を立ててはいけないと市のほうで決まっているなら仕方ないが、旧八幡町コミセンには、文化会館のチラシなどを貼れるような立派なガラス張りの掲示版があった。それがあると、通りがかりの方がわざわざコミセンの中に入って来る必要はない。中に入ってきてくれたらうれしいが、用もないのに入っていきける雰囲気ではない。外にあれば通りがかりの方も見るし、事業のPRにもなる。もし市で禁止していないのであれば、ぜひ掲示版は必要だ。この1年見ていて、本当にいい活動をしている。でも、それが地域の方に反映されていないのがとても残念だし、やっている方たちも気の毒だ。



八幡町コミュニティセンター

【山下八幡町コミュニティ協議会委員長】

私どもは、まずは気軽に立ち寄ってもらえるコミセンにしたいという思いがありました。しかし、やはり入りにくいということなので、それについては真摯に受け止め、今後さらに気軽にお立ち寄りいただけるコミセンにするには何が欠けているのか、反省しながら対策を打っていきたいと思います。

中に入らなくても、外から最低限必要なポスターが見られるように、壁を全部ガラス張りにしており、外に向けて張り、有効に使っています。また、館内に展示するパネルを利用してテーマごとにお知らせをしています。そのお知らせを見て、中に入っただき見ていただくという考えも一つ捨てがたいものとして、私どもは持っています。まだそれが浸透してない感じを受けていらっしゃるとのことなので、もっと知恵を出してやっていきたいと思っています。

【市長】

看板をつける、つけないについては、各コミセンでの判断ではないかとは思いますが。もし必要があれば、掲示板の設置の検討をされてもいいのではないかと思います。

また、後半のテーマになりますが、安全の拠点としてのコミセンの役割を大いに担っていただくための機能として、情報の提供をしていただきたいと思います。コミセンはMCA無線があるので、市役所と情報が直結しています。大地震の時も情報をコミセン等にすぐ流すことができますので、それを紙に手で書いて貼っていただくような場所があるといいと思います。そのためにも、掲示板がわかりやすいところがあれば一つのメリットかと思えます。市では、掲示板の設置状況も踏まえて、コミセンの情報提供のあり方などについて、コミュニティ研究連絡会を通じてお知らせをしていけたらと思っています。

また、西側のガラス面については掲示板としても利用できるように設計をしているようですので、きれいにわかりやすく活用していただければと思います。

【ご意見】

ぜひ実現していただけたらと思う。ちらしについては外から見えるが、べたべた貼ってはあまり景観がよくない。せっかくガラス張りで、中が見えるような状態になっているので、その状態を活かしたほうがよい。

【山下八幡町コミュニティ協議会委員長】

新しいコミセンなので、従来の発想にとらわれることなく、ガラス張りを活かしてパネルなどにセンス良く並べるなどの工夫をしてみます。それでも本当に掲示板が必要であれば、市に正式に申し入れたいと思います。

市では、災害時にコミセンを地域の支え合いステーションと位置づけていますが、一番大事な機能が情報の発信です。今後は、外部に向かって情報をわかりやすくお知らせするためにはどうしたらいいかという視点で、もちろん掲示板もその中の有力な手段かもしれませんが、コミセンとしてもう一回考えていきたいと思います。

2. 北ホールの利用について

【ご意見】

八幡町コミセンと北ホールの関係についてお聞きしたい。旧八幡町コミセンを建て替えるときに何回も話し合いをしたが、最初に出てきたのは、ここには住民が少ないから大型館はできないということが、もう先にありきだった。

健康体操の人たちは40人近くいるが、北ホールが使えなくなることで困っている。昨日、しばらくは北ホールが使えるらしいという話は聞いたが、これまでの経過として、先に地域の人数で建物の規模を決めるのではなくて、どう利用して活用していたのかということの現実を踏まえて話を持っていってもらえたら、こんなに悩まなくて済んだのではないか。

北ホールは、もともと旧八幡町コミセンが狭いからということで、その分館みたいなかたちで借りていたのはわかるが、だったらそこで活動していた人たちがこのコミセンで活動ができるような場をつくってくれるというのが前提ではないかと思う。

【ご意見】

北ホールの件については、今後どういう形で進めていくのかというのを、改めてお知らせいただきたい。

【ご意見】

2月3日の総務委員会を傍聴した。北ホールは1年間使えるようになって、1年間同じ状態で使えるとは限らないというお話と、1年間使えますという話もあり、答弁が違っていた。

それから、3月に第2回懇談会を開くというお話だが、北ホールはスバル興産の持ち物だということなので、その懇談会にスバル興産が参加するということは無理なのか。

【ご意見】

私も地域健康体操をやっているが、新コミセンができたから、来年度からこちらのほうでやってほしいと先生に言われたが、40人以上いる生徒が、椅子を使って手足を伸ばしてする体操を新

コミセンですることが可能なのか。部屋を見ていただければわかるが、ここでやるのはとても無理だと思う。先生はそれなりにやりますからとはおっしゃってくださったが、スバル興産にどうしてもお貸しできないと言われれば納得してこちらには来るが、そうでなければ、あと2年でも3年でも北ホールで活動したい。

【市長】

冒頭の挨拶の中でも触れましたが、北ホールの問題は陳情も出ておりますので、皆様の要望がどうやったら叶うか考えています。ただ、施設については、スバル興産のものでありますから、こちらで一方向的に決めることはできないということでございます。やはり皆様との意見交換も必要だと思っておりますので、スバル興産のお考えも聞きながら、3月中に皆様との意見交換の場を設けていきたいと思っております。その中で、地域健康クラブについては、福祉公社経由で行っている事業であります。基本はコミュニティの輪を広げようということもあって、コミセン利用というのが原則であります。



コミセンには広い体育施設のあるところもあれば、無いところもあって、それぞれ工夫をしながら行っているとのことですが、福祉公社の担当者に聞いたところ、こちらではイベントルームを利用すれば、いろいろな工夫の中で行えるのではないかとということです。そのため、予定では4月に一旦こちらに移動していただき、また課題を見ながら次の方向を考えようということをお福祉公社と打ち合わせをしているところでございます。北ホールをどうするかという利用が決まっていないということと、決定するまでは4月からコミセンで運動を継続していただきたいということで、ご理解いただきたいと思っております。

北ホールについては、コミセンの機能は無くなったわけですが、多目的で使える極めて有効な空間だと思っておりますので、市として、何らかの位置づけができないかと思っております。そのためには、運営の仕組みも考えないといけません。今まで運営は、コミセンの分館という位置づけで行っていましたが、他にはそういう施設が市には例がないので、新たにどういう位置づけの施設にするかということも議論しないといけないし、その運営体制についても、もう少し福祉的な目的で使う可能性を含めて、市のほうでもうしばらく議論したいと思っております。

総務委員会の中での議論については、まだ決まっていない状況ゆえの議論であったと思います。来年度の予算案については、これから予算委員会があって、議会で審議していただきますが、市としては運営費を計上していこうと思っております。

ただ、スバル興産との話し合いによっては、建物の中身を、少し手を加える可能性もあります。年度途中から工事に入る可能性も無きにしもあらずなので、通年の使用をお約束できるような条件に今はないと思っております。

来月にもいろいろ報告し、皆様の意見をもらうような場をつくっていききたいと思っておりますので、引き続き皆様と協議していききたいと思っております。

【ご意見】

地域健康クラブについては、八幡町コミセンのほうに一旦くるものの、また北ホールへ戻れるようなお話だが、先生の都合でそれは無理である。また、今は火曜日にやっているが、このコミ

第54回タウンミーティング

H26. 2. 15 開催・八幡町コミュニティセンター

意見交換要旨

センは火曜日がお休みなので、そうすると、他の予定も勘案するとクラブの開催日を金曜日にしななければいけない。その金曜日は先生のご都合もあって、いろいろ難しいのではないかと思う。

1年なら1年でもいいので北ホールでやらせていただき、どうしてもだめなら再来年度から八幡町コミセンのほうでやるというかたちにしていただければと思う。

【市長】

先ほどお話しましたとおり、ここで地域健康クラブを実施することは確約できるかと思っておりますので、まずはこの場所での実施ということもご理解いただけたらと思っております。

【ご意見】

予算というのは1年で組むものではないのか。スバル興産とこれから話し合うというのはまだ理解できるが、スバル興産のほうも委託をしている掃除等の委託期間を1年で考えているということ聞いた。

市が予算を1年分計上したにもかかわらず、スバル興産が何か自分たちの都合で建物の中をいじるために、1年間使えなくなるというのはおかしいのではないか。私たち市民が使うためでなく、スバル興産が何か使うための準備をするために中をいじるというのは、ちょっと筋が違うのではないか。

【市長】

すぐに4月から使えなくなるということではなくて、今後の話し合いによりますので、1年間の使用は約束できませんが、市としては来年度の予算計上をしておくということです。

【ご意見】

計上したら使えるというわけではないのか。

【市長】

それはスバル興産との話し合いの結果です。

【北原市民活動推進課長】

総務委員会で申し上げたことは、今、市長が申し上げた内容と同じですが、4月以降予算計上しているのは、当然1年分の予算でございます。

ただ、今後の活用については検討中でして、その内容によっては、丸々1年間今までどおりの使用を継続できる状況になるということは断言できません。少なくとも秋ぐらいまでは平気だということは申し上げられるのですが、来年の10月以降から冬にかけて、場合によっては先ほどお話があったように、工事等が入る可能性があるという状況です。そういった事情もあって、健康体操についても年度途中の変更は難しいと主催者側からもお話をいただいております。健康体操はコミュニティセンターでやっていくという基本的考えがありますので、来年度については、そういった取り扱いでお願いができないかというところでございます。

【市長】

誤解をされているかもしれませんが、そこでクローズドするという意味ではありません。中身によっては、施設の改修工事をしなければいけないことが出てくるかもしれないとの想定をしているので、それを来年度の後半部分で行い、27年の4月からリニューアルオープンするイメージをしています。市としてもあの施設の継続ということを考えておりますので、ご理解いただきたいと思っています。

【ご意見】

スバル興産が、工事をしているのか。

【ご意見】

来年度の途中から使えなくなるかもしれないという話だが、前回の北ホールでの話の中では、地域ともしっかりと話をしながら進めていくということだが、年度の途中から話をし、そんなにすぐ話し合いの方向性が決まって、すぐ工事に入る契約ができるのか。

この間の北ホールでの懇談会で言っていた話とは違う。市長はその時にいらっしゃらなかったが、担当課の課長はそうは言っていなかった。これだけ異論が挙がっているのに、その辺のところはしっかりと話をしてもらい、答えていただきたい。

【市長】

要するにスバル興産との話し合いが終わっていないものですから、全て仮定の話です。ただし、市としては今までの皆様のご利用もありますので、今後も使えるような状況を維持するため予算編成はしていこうということでもあります。

スバル興産との話し合いが続くようであれば、そのまま来年1年間は今のようなかたちになり、スバル興産との話の中で次の可能性が出てきた時には、それはそれで最短の見直しを図るべきだと思っておりますので、年度途中で一時施設改修が入る可能性もあるということをお含みいただければと思います。

【ご意見】

リニューアルの費用というのは、スバル興産のほうでリニューアルをしたいということであれば、スバル興産が持つのだろうが、逆の立場で市として市民に使っていただきたいということであれば、そのリニューアルの費用は、市が負担することになるのか。

【市長】

それもまだ決まっていません。

【ご意見】

前回の懇談会にも出たが、今、市長のほうからクローズではなく、これから話し合っ、できるだけ施設を有効に使っていく方向だという話を聞き、非常にほっとしている。

当初、北ホールは、武蔵野市に住み、働き、学ぶ人のための福祉増進の施設として、市に無償で提供するということから出発して、市と契約を結んでいるので、その契約の中で、施設がもう古くなって使えないとか、スバル興産全体の経営の中で、施設を不要とするような状況が起きてきた場合は、改めて話し合いをするということに進んできた。私たちが狭い前のコミセンではだめだということで、1,700も署名を集めて陳情し、そしてその時点では、新館の建設ができないので、北ホールを共同運営するということが、市民の要望の中の到達点としてホールを使ってきた。その後、こんな立派なものをつくってもらったわけだが、そういう過程の中で共同運営はやめようということになったことは、この新築の取り組みの中では、共通の認識としてきた。

共同運営をやめるということは、北ホールは市民全体の福利厚生施設として市に提供して、市と契約を結んでいるわけだから、共同運営の前提がなければ、出発点に立ち返り、スバル興産の善意の趣旨がそのまま生きているということと、これに対してあの施設が今でも市民ニーズがあるということになれば、これはこれとしてまだ前段の取り壊す理由もなければ、若干の補修が

第54回タウンミーティング

H26. 2. 15 開催・八幡町コミュニティセンター

意見交換要旨

あっても続けていくということにならないか。

それから、その利用については、今、利用している方が、陳情することはもちろんのこと、これからもあの施設を利用したいという全市民の意向もニーズもあるわけだから、改めてクローズしない方向で検討していくと理解していいのか。

【市長】

今、整理していただいたようなかたちで、基本的には何とか継続を考えています。ただ、継続



するにあたって、今までと違ったスタイルという位置づけですから、それについてスバル興産と、今、調整をさせていただいております。こちらで一方的に全て結論を言えるものではありませんので、今後スバル興産との協議結果というか、話し合いの経過も含め、それをもとに、また皆様との意見交換をしていきたいと思っています。例えば改修のためにクローズするという事も決ま

ってないのです。そういう可能性もあるということで、来年度以降はちょっと不安定になることをお伝えしたいと思います。

3. コミセンの看板（サインボード）の設置について

【ご意見】

新しいコミセンになって、夜、八幡町コミセンがどこにあるのか分からないという問い合わせがある。夜になったら電気のつく八幡町コミュニティセンターというサインボードをつけてもらえないかという話をしたことがある。そしたら、建設のデザインの関係とか、法律でサインボードに制限があるということで、今のところは希望に沿えないという話を聞いたが、それはどういうことなのか。

【市長】

詳しいことは分かりませんが、場所が分かりにくいということであれば、案内を出すのは当たり前だと思います。例えば最近、農家の方に、街路灯が明る過ぎて農作物に影響あるなどと言われることがあります。そういうこともあるかもしれませんが、基本的には自家用看板ですから、自分の敷地の中に立てる看板というのは、面積的な制限はありますが、法的には大丈夫だと思います。

昔、境南コミセン協議員のときに、看板をつけてもらった経緯があります。それで色をどうするかなども話して、緑の看板を出してもらったという記憶があるので、そういう考え方で基本的にいいのではないかと思います。何か制限などあれば、担当の方から説明してください。

【北原市民活動推進課長】

当初、新コミセンをつくっていく設計段階で、デザインの考え方の中に、今のご提案についてはなかなか相入れない部分があったのではないかと思います。ただ、開館から1年以上経過してきていますので、市長からもお話があったとおり、改めてどういうものが適当なのかについて、予算面の問題もありますが、検討してみます。

4. コミセンの広報活動について

【ご意見】

一つはコミセンの掲示板の設置について補足をしたい。

私たちは地域の団体とのコミュニティを増進しようということで、取り組んできた。その一環として、防犯協会などの掲示板はすばらしいと思っている。でも、あれを1つ作るのは大変だ。コミセンとしては3カ所にコミセン用の掲示板がある。その他に十数カ所、八幡町にいい看板がある。それを防犯協会と相談して、空いている時にはそれを使わせてもらう。済んだものについてはすぐ外すという協定を組んで、それを使えば十数カ所に掲示板があるわけだから、これを有効に使うということが一番手ごろで大事かなと思う。

それからもう一つは、市長就任後すぐ、私たちみんなで署名をし、そして新しいコミセンの建設をお願いし、満場一致で建設が決まってから完成まで7年間かかった。合言葉は「みんなで作ろう、みんなのコミセン」ということで、ようやくでき上がった。みんなで夢を実現してきた。八コミというニックネームをつける時もアンケートを取り、いろいろなことをみんなで作ろうという気持ちで進めてきた。一年間頑張って、今、高い評価もいただいているが、むしろこれからは魂の入れどころだと思っている。

【山下八幡町コミュニティ協議会委員長】

新コミセンができて、どういう方向にどんな活動をしているのかというのを、まず皆さんにできるだけお知らせをしたいと思っています。広報活動がものすごく大事だというのは、私も重々認識しておりまして、その手段としてはまず市報がございます。それから、ポスター、チラシ、それを掲示する掲示板というものもその一つだと思います。

従来、旧コミセンでは館内でやる事業にも限りがありましたので、市報が出て八幡町の事業がまた載っていないとよく言われました。この新コミセンに移って、私どもはこの館をどのように活かしたらいいか、言いかえれば新しくできたコミセンにどれだけたくさんの方に来ていただけるかということが初年度の最大の目標でありました。

そして、旧コミセンでは狭く、外での事業が多かったと思いますけれども、新コミセンでは館中でやるいろいろな行事とかイベントをやって、どれだけ来ていただけるかということに力を入れてきました。それを皆さんにどうやって告知するか。市報には毎回必ず何らかの行事なり、事業のご案内をして、次の市報にはどんな行事があるのかなというふうに見ただけの方が、1人でも2人でも増えていくように進めてまいりました。

それから、ポスターについては、ちょうどお気づきの方がいらっしゃるかと思いますけど、南側の出入り口の方に向かってコルクの壁面にずらっと並んでいますが、最初のころは、終わっている行事も貼ってあるという意見がありました。でも、それを我慢して貼り続けてきたら、そのポスターのできばえも含めて、皆さんからこんなにやっているのね、今度はぜひ参加してみようと言っただけのようになりました。そうは言っても、外にある掲示板に関しては、終わったらしっかりとって、美観を損なわないようにするように気をつけています。

他にも、例えばチラシというのもあります。これは全戸配布のチラシもあれば、そうでない限



コミュニティセンターだより

第54回タウンミーティング

H26. 2. 15 開催・小幡町コミュニティセンター

意見交換要旨

定期的なチラシもあります。その場合もチラシをつくってただ配るのではなくて、例えば受付のカウンターに置いて、来られた方でそのチラシの行事に興味のある方には一言添えてお渡ししてみ



る。窓口の方に繰り返しお願いして、定着するまで時間はかかりますけど、そういうかたちで、とにかくやってきた事業というものをどれだけ皆さんにお知らせしてご参加いただくかということに力を注いで一年やってきました。でも、皆さんから見るとまだこういう課題があるとか、せっかくやるのならもっとこういうふうにして欲しいとか、逆にそういうご要望があれば、こういう機会なのでぜひ伺いたいと思います。

ですから、広報活動に対して、皆様のほうでお感じになっていることがあったら、ぜひ教えていただきたいと思っています。

【司会】

これからも窓口のほうで、皆様のお声を拾っていききたいなと思っています。こういうかしこまった場所では、なかなか一言、二言、言いたくても言えないなと思われている方も多いかと思いますので、気軽に受付のほうに寄っていただいて、このところこうだったらありがたいよね、こんなことしてくれたらうれしいわ、これがよかったよというようなお声をかけていただければと思います。

窓口のほうも、皆様を本当に心からありがとうという気持ちをもってお迎えしましょうという方向でこれからもいきたいと思っていますので、お気づきのことは何なりと窓口で言っていただければと思います。

(3)「安全・安心のまちづくり」をテーマにした意見交換（要旨）

1. 町内会・近隣の支え合い・職員の対応について

【ご意見】

町内会が昔あったように聞いているが、なぜ廃止されたのか。あと、防災関係の問題、これは町内会とも密接な関係がある。隣組は大切にしなければいけないというのが最近の防災問題。特に孤立死、孤独死というのがどんどん増えているが、これらは、行政が手を差し伸べていくにはなかなか難しい。恐らく完璧にはできないと思う。そこで必要なものが隣組の助け合いだと思う。

例えば、防災訓練というものもやっていると聞いているが、防災訓練というのは、市としてやるものなのか。最近よく目にしているのは、福祉協議会が何か主催しているような、ちょっとお門違いじゃないかという感じがする。

それからもう一点、職員の対応について。先日、印鑑証明と住民票をとり市役所へ行った。手数料が1通300円するが一部機械化されていて、そこでは1通200円で発行できる。そういう説明を、市の職員はしてくれなかった。市としては、受け身ではなく手を差し伸べることが必要ではないだろうかと思う。市の職員が随分多くいて、ちょっと窓口に触るとすっと来てくれるが、手の差し伸べ方が足りない。市の職員はもう少し削減してもいいのではないかと思う。もう少し手を差し伸べるという姿勢が必要だと思う。

【市長】

武蔵野市としては、全市的に町内会・自治会がございません。戦後、マッカーサーにより廃止されております。中央集権国家というのはなかなか課題が多い。中央政府から町内会までピラミッド構造であったというのをやめようということで、基本的に制度は廃止されたが、しかし町内会のよさというものもあるものですから、地方都市ではそれを復活をさせて市役所と連携をするようなかたちで、今、独自のルールで行われています。武蔵野市の場合はその復活がなかったということですが、実は既存の町会もあります。市内には27の自治会・町内会があり、加盟されている方が約8,400世帯ございます。今、武蔵野市の世帯数が7万3,000世帯ぐらいだと思いますので、11～12%は町会や町内会、あるいは自治会に加盟されていて、それぞれ町内会の活動をされているということです。そういうところがあれば、いろいろな情報を提供して回覧版で流れるんですね。あるいは地域の見守りや防災など、そういうところが核となっていていろいろ対応いただいているのですが、全市的にはそれがありませんから、武蔵野市は大変苦労しているところ

です。しかし、その代わりにコミュニティ協議会というものがあります。コミュニティ協議会は、かなり範囲も広く、そんなに密なコミュニティ形成をとるのはなかなか難しいので、独自に自主防災組織や避難所の運営組織もいろいろなところで生まれております。そういう目的に沿ったような形のコミュニティというのが、いろいろできているのですが、ただ、それぞれがややもすればばらばらになりがちなので、これを何とかうまくまとめられないかなと、今、課題として思っています。あわせて、これから武蔵野市がどういうコミュニティづくりをしていくのか。まさに



第54回タウンミーティング

H26. 2. 15 開催・川崎町コミュニティセンター

意見交換要旨

このコミセンがどういう役割を担っていけばいいのかということ、今、研究しているところですので、やがては地域の力として、福祉なり防災なり、あるいは青少年の健全育成なり、地域の力に委ねるところが大きいものですから、これからも地域のあり方を徹底して議論していきたいと思っています。

それから、同じように隣組は大切ですね。これは常日ごろからの皆様の生活の中で、いかに地域でいろいろな連携を持っていただくかということが必要ではないかと思いますが、恐らく先週と今日雪かきをして、久しぶりに隣の人と話し合ったとか、そういう雪かきによってコミュニティが若干広がるようなこともありましたので、そのようにともに苦勞するというのもっと地域で考えていくことも大いに必要ですし、苦勞だけではなくて、お祭りとかいろいろなイベントにも一緒に参加をして、一緒に手伝うということが、より日ごろからの連携を強めていくのでは



ないかと思います。日ごろからの関係が、いざというときに役立つのではないかと思います。それはコミセンがもっと発案をしてやっていただくものなのかどうかは分かりませんが、日ごろからいろいろなことを地域でやりましょうということを市としても言えますので、地域とのコミュニティの夢を見ていただくことに、私も同感であります。

それから、職員の対応についてですが、窓口というのは大変大切なところでございます。交付機を設定してからもう4年、5年ぐらいたっているかと思いますが、ややもすれば窓口の職員がご案内を失念しているかもしれません。窓口で証明を求める方に対しては、交付機がありますので、今度ご利用くださいなど、案内はすべきだと私も思いますので、それは再度窓口の担当に申し伝えたいと思っています。窓口は、現在、嘱託職員がやっていることが多いかと思いますが、嘱託職員だからいいということではありません。嘱託職員も市の職員の大切な一員でございまして、同じように市民の立場に立って対応をするように、これからも厳しく伝えていきたいと思っています。

【ご意見】

嘱託職員だからわからないという話はないと思う。

世帯が核家族というか、二人世帯、一人世帯がどんどん増えている。これに市の行政がどれだけ手を差し伸べられるだろうか。まず不可能だと思う。それなら、コミセンというかたちで手を差し伸べられるだろうか。それもできないだろうと思う。

コミセンをいろいろな角度で充実させていこうという市の政策、これはまことに結構なことだろうと思う。今、社会問題として高齢化、それから核家族化と少子家族というものがどんどん増えている中、コミセンの充実という前に、隣組のつき合いやふれ合いというものが必要ではないかと思う。もう少し市として隣組、隣近所のつき合いやふれ合いというものを進める必要があるのではないかなと思う。

【市長】

ご意見のとおりだと思います。武蔵野市は近隣を大切にしていこうといったようなこともメッセージとして発していかなければと思っています。仕組みとしてつくるのは難しいかもしれませんが

が、どうやってそれを実現していけるのかも含めて、今、コミュニティのあり方ということを議論していただいています。そういう場でも、単にコミセンをどうするかだけでなく、地域をどうするかという視点を考えれば、近隣関係は大切ですので、少し意見交換をしてもらいたいと思います。

【ご意見】

正職の人と嘱託職員との対応の仕方がまるっきり違うというのが実感として感じている。常勤だろうが非常勤だろうが、市民から見れば市の職員だから、その非常勤職員に対してもきちんとマナーや心づもりというか、そういう教育をやっていただきたい。

ただ、やたらに市の職員を減らすのではなくて、市民サービスにとってどうなのかという視点で考えていただきたい。

2. コミセンの役割・安全の課題・玉川上水等の計画について

【ご意見】

武蔵野市は意識的に、自治会を中止にした。東京都では現在、補助金などを出してむしろ自治会を勧めている。今3年目の千川保育園通り自治会というのがあり、6班ぐらいに分かれていて、それぞれ世話人を置き代表世話人制度にして、自治会として規約もつくってやっている。

今日の雪かきの際にも、まず自助をお互いにやって、ちょっと困った人は共助ということが自治会があることでスムーズに進んだ。また、コミセン自身がまた大きな意味を含めて自治会の活動などを助成したり、そこから意見を組み込んだりするということで、十分とは言わないがいい芽がでてきている。

安全の課題では、ずっと念願だった千川地域自主防災会が、昨年5月29日に発足した。今、山下委員長がここに事務局を置き、活動して幅広い組織ができ上がった。また、本来のコミセン活動としての地域団体とのネットワークづくりという使命については、非常に試金石になるし、またそれが安全・安心の答えだろうと期待をしている。

それから、八幡町1丁目に五日市街道との交差点があり、その道路がよくなったが、非常に交通量が多くなっている。五日市街道の拡幅工事もあるが、ちょうど交差点のところはまだ進んでおらず、非常に危険で心配している。

【ご意見】

三鷹から万助橋のほうへ向かう玉川上水の計画を教えて欲しい。

【市長】

武蔵野市の世帯の7割はマンションや社宅、アパートなどの共同住宅に住んでいます。一つの課題は共同住宅単位でのコミュニケーションがベースではないかと思ってます。マンションにおいては、管理組合すらないマンションもまだありますので、まずは管理組合をつくり、やがてはそれだけではなく、いろいろな課題解決に向けて考えていけるよう自治会として発展させていくことが大切ではないかと思っています。

一つは防災を切り口にすると、例えば防災訓練をしませんかと声掛けしますと、東日本大震災以降、幾つかのマンションがそれに手を挙げていただいています。そういう防災を切り口にする、皆さんも割と集まりやすいので、それをもとにコミュニケーションができ、その次のステッ

プに進んでいただければと思っています。

また、武蔵野市としては町内会制度というのがありませんので、いろいろと試行しながら、やがてはもう少し近隣関係を大切にしましょうということも含めて、大いに何か取り組みを進めていけたらと思います。

それから、玉川上水の三鷹駅から万助橋のほうで、三鷹市側が風の散歩道というきれいな道があります。武蔵野市も北側の道の御殿山通りをきれいにし、風の散歩道に負けないようないい道をつくろうと思っています。用地買収が難航しておりますが、一部工事に着手しているところもありますので、ぜひご期待いただきたいと思っています。名称については現在の「御殿山通り」でもいいかなと思いますが、南側が風の散歩道なので、何かいい名前ができればと思います。

さらにその道を進むと井の頭自然文化園の北村西望氏の彫刻があるアトリエの南側になりますので、そこに出入り口をつくれなにかという話を東京都に伝えています。それから、万助橋とむらさき橋の間に人道橋ができませんかと思っています。その橋ができれば、山本有三記念館、北村西望氏のアトリエ、それからジブリ美術館など、この辺が回遊できるのではないかと思います。ゲートをつくると予算がかかるので、なかなか進んでおりませんが、今、そういう希望を出して、あそこをもっと魅力的なところにしていきたいと思っていますので、ご期待ください。

3. 中央公園等、車止めの鍵の管理について

【ご意見】

中央公園とか遊歩道のところに、車止めのポールができていますが、あの鍵は、もし災害があった場合、市役所の方で開けるのか。誰が鍵を持っているのか。

【市長】

中央公園は都立公園ですので、公園の管理事務所が管理をしていると思います。グリーンパーク遊歩道については、これは市の遊歩道ですので、市が管理をしております。

【ご意見】

もし地震などがあった時に、車椅子が入れないのではないかと。

公園の入り口や遊歩道のところにも、結構広い道に出る前にポールが3カ所ある。普段通るには構わないが、いざ災害が起こりどっと人が来たときに、その鍵を誰が外してくれるのか。

【北原市民活動推進課長】

以前、交通対策課にも、遊歩道上を通る自転車が非常に危険だというご意見をいただき、その安全確保のために、東京都の公園課にお願いをしてそこに柵をつけてもらいました。なるべく自転車が突っ込めないように、わざわざ通りにくい柵づけになっています。

鍵については公園課の職員が持っておりますし、市の防災課でも持っておりますので、災害時等にあけることは可能だと思います。ただ、基本的には公園管理の一環ですので、公園課の職員があけるのが本来のかたちだと思います。

【ご意見】

常に市役所の職員が24時間いるわけではないので、近くの民生委員さんや地域の方に持っていていただくことはできないかと。

【市長】

避難所など、大切な場所であれば、そういう工夫についても、考えてみたいと思います。

4. アンテナの設置・防犯カメラの設置・除雪について

【ご意見】

千川小の体育館にアンテナがあるが、非常に電波が悪い。災害時避難をした場合に、携帯を使いたいとか何か情報を得たいときには、対応できるように改善して欲しい。

昨年、吉祥寺の方でいたましい事件があった。この辺でも、子どもたちに対しての声かけ事案はたくさん出ている。この八幡町エリアで防犯カメラについて、ここに付いているということだったり、改めてこういうところにつけたらいいんじゃないかとかいう意見を聞きたい。

それともう一つは、今日のような大雪の日に、ここでタウンミーティングをやるのはどうなんだ、やっていること自体がどうなんだというような意見もあった。また、雪かきについて、要は住民の方の協力ではなくて、行政側で少し手をかけていただけるとお願いができないか。消防団にも入っているが、消防団にも依頼が来ていなかったが、こういうこともできるのではないかな。

【市長】

避難所におけるネット環境の整備というのは、重々承知しております。まだ具体的には進んで



災害時用トイレ

おりませんが、整備の一環として考えていきたいと思っています。また、避難所の設備を強化してこうということで、災害時トイレも今設置しております。一時に全てということではできませんが、いろいろな備品も含めて順次そういうことも検討していきたいと思っています。

それから、声かけ事案に関しましては、大変心配なことが続いています。昨年末に西久保地区で起きた事件は未遂に終わり、その犯人を逮捕できましたが、この事件についても防犯カメラの映像をもとに突きとめたという経緯もあり、防犯カメラは極めて効果が高いと思っています。

昨年、吉祥寺で事件が起きた際も防犯カメラに映った犯人像から、検挙につながっています。防犯カメラの設置については、商店街に設置する場合は、国と東京都の補助制度があり、市としてもそれにプラスをして設置を進めています。その結果、今年3月までには全市的に170基となり、従前に比べて倍ぐらい設置することが出来る予定です。また、住宅地についても、東京都で支援制度があり市の上乗せもありますので、御殿山地区の住宅地では、町内会で設置をするという取り組みもあります。もし、地域でまとまってつけたいという要望があれば、市にご相談いただきたいと思います。

それから、今日のような日にタウンミーティングをやるかどうかというのは、なかなか難しい問題ですが、基本的には歩いてこられるという範囲のタウンミーティングだろうということで、また予定も前々からしておりましたので、開催をさせていただこうということになりました。また、今日来られなかった方も、タウンミーティングは定期的に年に6～7回やっておりますので、ぜひ参加していただければと



防犯カメラの様子

思います。

それから、雪に対しては、確かにおっしゃるとおり対処が万全ではないです。市の職員も朝から何班かに分かれて、雪かきのために市内の主要なところを回っています。要請をいただければ、市から業者に依頼して、特に幹線道路についてはやることになっておりますので、ぜひ情報をいただきたいと思います。また、消防団におかれましては、自主的にいろいろな地域の課題となるところをやっていただいておりますので、ご協力いただいて何とかしのいでいけたらと思っています。

【ご意見】

主要なところは回るとのことだが、八幡町1丁目の交番のあるところは、今日もさっきやってきた。関前3丁目、先ほど交通事故が起こってからじゃ危ないと言われていたところも目の前にある会社がやってたし、その先の地域の方たちも、困った、困ったと言っている。それらは主要じゃないのかっていう表現はしたくないが、手が足りな過ぎるのではないか。もう少し行政側に動いてもらいたい。要請があれば行きますよという、現状では足りないから、多分言ってもなかなか難しいと思うので、もう少しその辺のところを細かく見てもらいたい。

5. 中島飛行機変電室の保存について

【ご意見】

中島飛行機の跡地の東工場の一角に、唯一残っている変電所をメモリアルな建物として活用し、残してもらったほうがいいのではないかと思う。

あそこに1.1ヘクタールの土地を中央公園とセットにして、樹木を中心にした公園をつくるという話は聞いているが、変電所があっても眺望を害さないし、歴史的な意味は深いし、中島飛行機を語らずして武蔵野市は語れないといつも思っている、そういう意味で、ちょっとしたリニューアルをやったら素晴らしいものができるのではないか。市が主催等をして、住民と一緒に管理をしたり、一定の歴史的な資料館にしたり、あるいは市民が寄ってちょっとした憩いの場にするとか、そんなことに活用できたらいいのではないか。市が都から借りてやってくれたらいいのではないかと思う。

【市長】

旧中島飛行機の変電所は、都営住宅に隣接するところに戦前から建っていて、中島飛行機の施設としては現存する唯一の施設ということです。

基本的には都の財産ですし、都の用地なので都へ要望していただいているところであります。都営住宅の跡地をどうするかということについて、市としましては、公園を要望し、公園になることが決まりました。1ヘクタールの公園が誕生するということです、その公園の中身については、東京都が原案をつくりながら、パブリックコメントでも意見を聞き進めていくところであります。

まさにその意見の中に、変電所を残して欲しいということが加わっていると思います。最終判断するのは東京都であります、今のところ東京都と市との打ち合わせの中では、都は基本的には残す方向にはないということです。

市も以前の折衝の中では、変電所を残すという前提で公園を拡張するという要望はしないこと

になっていたものですから、ここにきて公園の計画が決まり、改めて変電室を残すというスタンスにはないのです。皆様が意見を言っていると思いますので、今後はそれが東京都の公園審議会において審議されることとなりますので、市はそれを見守る立場にあります。

メモリアルということも確かにそうだと思います。中島飛行機自体があそこの中央公園を中心にあつたものですので、中央公園についてはそういう戦跡の歴史を伝えるようなことをもっとしなければと思っています。小さいプレートがあるだけなので、あそこに来られて、そこに中島飛行機の工場があつたという、もう少しわかりやすい何か説明板なりメモリアルなものが必要じゃないかと思っています。



中央公園の歴史・説明板

歴史的なものにつきましては、今、整備を始めるところで、西部地区の旧西部図書館に、歴史資料館の開設準備をしています。面積約1,000平米ということですので、なるべく展示をしていく予定ですが、資料を収蔵するスペースが少ないので、JR高架下あたりを収納スペースとして借りられたらと思っています。

【ご意見】

遊歩道に説明プレートが幾つかあり、大変いいと思う。散歩する人が、あそこに寄って読んでいる。

【ご意見】

建物があるのと、ただプレートだけがあるのでは、インパクトが違うと思う。NTTの中にあつたものも全部壊されてなくなっているということもあるので、大事な中島の建物の最後ということで、やはり建物として残してもらって、そこに看板なりを出してもらったほうが皆さんに訴えやすいのではないかと思う。

6. 防災対策について

【ご意見】

防災の視点や車椅子などの問題を念頭に置いて、道路の整備をお願いしたい。

町内会の問題の中で、マンションの管理組合で防災などを進めてほしいというように指導しているというが、その市の担当部署はどこか。そして今実際に、やっているのか。

【市長】

防災の視点、何事にも大切でありまして、先ほど玉川上水で人道橋の話もしましたが、避難所にも有効だというように、そういう機能も含めて提案をしているところです。

それから、マンションについては、個別には言っていないですが、共同住宅向けには、そういうチラシ等を配布していると私は認識しています。

これからも共同住宅のそういう取り組みが不可欠だと思っておりますので、啓発についてはより一層、強めていきたいと思っておりますし、ぜひお住まいのマンションの皆様とご相談いただいて、防災についての取り組みをしていただきたいと思います。市（防災課）の職員も説明に行かせたいと思っておりますので、ぜひお声をかけていただきたいと思います。

(4) 閉会のあいさつ

【山下八幡町コミュニティ協議会委員長】

もう少し時間があつたらよかったかなという感想はありますが、コミセンの役割は、どんな台風が来ようが大雪が降ろうが、開けるものだという位置づけであります。そして、とにかく来られる方が怪我をされないように、それが第一です。

今日は市民と市長のタウンミーティングですから、当然市政に対するご質問が多いのはやむを得ないのですが、せっかく八幡町コミセンで行いましたので、最後にちょっと一言だけPRさせていただきますと、最初に言いましたように、こんなに立派な館を建てていただいて、その運営を担っている者として申し上げたいのですが、今年はちょうど2年目になるわけです。昨年はしゃかりきにいろいろやってきましたが、2年目というのは本当にしっかりした、この先きつと継続できるような土台づくりをする一番大切な年だと思っていますので、そういうことに向けて、いろいろな事業なり運営に関する問題なり、お気づきの点がありましたら、窓口でも私ども役員に対してでも、ぜひ率直なご意見を聞かせていただきたいと思っています。

土日は、午前中コーヒーの日ということで、1杯50円で提供しています。結構味もいいと言っていますので、ぶらっと来ていただいて、今、言ったようなお話を聞かせていただいて、土台づくりに活かしたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っています。

本当に今日はありがとうございました。



【市長】

八幡町コミセンも1周年を迎えて、今まで以上にいろいろなコミュニティ活動が展開されていることを、大変うれしく思っています。建設の際に、私は新しいコミュニティを築いてください、コミセンのモデルとなってほしいとお伝えしましたが、それを実践をいただいているのではないかと思います。他のコミセンもこれから老朽化が進む中で、建てかえの可能性も出てくる場所もあります。ぜひその際には、このコミセンをお手本にということと言えるようにしていきたいと思っています。

またあわせて、2番目のテーマの安全・安心なまちづくりということの中では、家族はもちろん大切ですが、まずは近隣関係を大切にしなければ、いざというときになかなか厳しくなるのではないかと思います。近隣関係から、さらにそれが広がるのが地域の力につながっていくと思いますので、ぜひこれからもこのコミセンを活用されるもよし、コミセンまで来られないときにはご近所の方とご挨拶をして、一緒に雪かきをしていただくのもよしということで、より一層地域のつながりをこれからも大切



にさせていただきたいと思います。

市では来週から議会が始まります。昨日、予算案を発表いたしましたので、議会のほうもぜひご注目いただきたいと思います。

あわせて、市の最も根本的な計画であります、第5期長期計画というのがありますが、それを来年度、再来年度に見直しをして、調整計画を策定するという時期にもなっておりまので、それに当たり、広く皆様方からご意見を聞く場、あるいは参加していただく場を設けてまいります。ぜひそういう機会にも参加していただきまして、いろいろな課題を教えてください、提案をしてください。そして皆様のさまざまな意見を聞きながら、より一層このまちをよりよくしていきたいと思っています。

本日はご参加いただきまして、ありがとうございました。

2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見、ご提案も含みます。また、同じ趣旨のご意見等については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	北ホールの利用	健康体操の人は40人近くいるが、北ホールが使いにくくなることで困っている。しばらくは北ホールが使えるらしいという話は聞いたが、これまでの経過として、先に地域の人数で建物の規模を決めるのではなく、どう利用して活用していたのかということの現実を踏まえて話を持って行ってもらいたかった。引き続きコミセンで活動ができるような場をつくってくれるというのが前提ではないかと思う。	地域健康クラブの実施については、担当課である高齢者支援課との協議を重ねた結果、平成26年度は八幡町コミセンで実施し、概ね例年とおりの参加者数でスタートしています。 北ホール自体は、1階部分を放課後等デイサービスの実施事業者に貸与することになりましたが、2階部分については、一般向けの貸出施設として継続することになりました。しかし、すでに北ホールの運営には、八幡町コミュニティ協議会は関わっていないため、平成27年度以降の実施場所については慎重に検討してまいりたいと思います。
2		新コミセンができたから、来年度からはコミセンでやってほしいと言われたが、あと2年でも3年でも北ホールで活動したい。 1年なら1年でもいいので北ホールでやらせていただき、どうしてもだめなら再来年度から八幡町コミセンのほうでやるというかたちにしてほしい。	
3	北ホールの改修	予算というのは1年で組むものではないのか。市が予算を1年分計上したにもかかわらず、スバル興産が何か自分たちの都合で中をいじるために、1年間使えなくなるというのはおかしいのではないか。私たち市民が使うためでなく、スバル興産が何か使うための準備をするために中をいじるというのは、筋が違うのではないか。	予算計上は行いますが、スバル興産との話し合いによっては、年度途中から工事に入る可能性もあります。また、北ホールの用途変更に関しての協議をスバル興産と重ねてきた結果、1階部分を放課後等デイサービスの実施事業者に貸与することとなりました。2階部分については、従来通り一般向けの貸出施設として継続することになりましたので、引き続き利用していただければと思います。
4		話の中では、地域ともしっかりと話をしながら進めていくということだが、年度の途中から話をして、そんなにすぐ話し合いの方向性が決まって、すぐ工事に入る契約ができるのか。	3回にわたる利用者懇談会及び説明会を経て、市議会及び利用者の方々には、一部用途変更についての了解を得たところです。工事については、原則として、放課後等デイサービスの実施事業者が行う予定です。
5		リニューアルの費用は、市が負担することになるのか。	
6	コミセンの看板	夜になったら電気のつく八幡町コミュニティセンターというサインボードをつけてもらえないか	予算上の問題もありますが、他の工事との兼ね合いのなかで検討していきたいと考えています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
7	町内会・隣組	町内会が昔あったように聞いているが、なぜ廃止されたのか。コミセンの充実という前に、隣組のつき合いやふれ合いというものが必要ではないかと思う。もう少し市として隣組、隣近所のつき合いやふれ合いというものを進める必要があるのではないかなと思う。	戦後、町内会・自治会の廃止が全国的に行われたあと、他の自治体では再びそれを復活させる動きがありましたが、武蔵野市としてはその復活をしないまま現在にいたっております。今後については、「これからの地域コミュニティ検討委員会」のなかでも、地域のつながりの希薄化について課題として取り上げ、あらたな地域コミュニティのあり方とその実現について、議論しているところです。
8		市の職員はもう少し削減してもいいのではないかと思う。もう少し手を差し伸べるという姿勢が必要だと思う。	市では、平成22年11月に、職員の日々の職務行動のよりどころとして職員行動指針を定めましたが、その中に「市民感覚を大切にし、誠実に取り組む」ことを盛り込んでいます。この方針に基づいて、市職員としてふさわしい行動をとるよう引き続き指導してまいります。また、嘱託職員を対象とした接遇研修も実施しておりますが、正規職員と同様に市職員としての自覚を持って業務に臨むよう指導してまいります。
9	市の職員	常勤だろうが非常勤だろうが、市民からすれば市の職員だから、非常勤職員に対してもきちんとマナーや心づもりというか、そういう教育をやっていただきたい。ただ、やたらに市の職員を減らせばいいということではなくて、市民サービスにとってどうなのかという視点で考えていただきたい。	職員数については、これまでも平成8年度から6次にわたる職員定数適正化計画により職員定数を削減してきました。今後も健全財政を維持しつつ市民サービスを向上していく財源を生み出すために、市(職員)が直接執行すべき業務を精査した上で必要な部署には集中的に正規職員を配置するなど、より効果的・効率的に行政課題を解決できる組織を作ってまいります。
10		八幡町1丁目五日市街道との交差点があり、その道路がよくなったが、非常に交通量が多くなっている。五日市街道の拡幅工事もあるが、ちょうど交差点のところはまだ進んでおらず、非常に危険で心配している。	五日市街道の関前三丁目交差点は、現在、都が交差点改良事業(第2次交差点すいすいプラン)として実施しており、拡幅整備をするために用地交渉を行っています。市としましては、今後とも、交差点部のみならず計画区域が事業化され、より安心安全な歩行空間を確保できるよう都に働きかけていきます。
11	道路の整備	三鷹から萬助橋のほうへ向かう玉川上水の計画を教えて欲しい。	三鷹橋からむらさき橋までの約400m間の拡幅につきましては、一部未買収地を除き、平成26年の秋頃から道路整備を行う予定です。人道橋(三鷹橋からむらさき橋間に設置予定)につきましては、国や東京都と引続き協議を行っていきたいと考えています。また、むらさき橋から万助橋間の東側の事業化につきましては、東京都や警察等の関係機関と協議していきたく考えております。
12		防災の視点や車椅子などの問題を念頭に置いて、道路の整備をお願いしたい。	延焼遮断、緊急時の避難、消防活動等、防災の観点からも都市計画道路の整備をはじめとして、道路幅員4m未満の道路を拡幅整備する「狭あい道路拡幅事業」等を積極的に進めています。また、道路改修に併せてバリアフリー化を図り、電線類の地中化による歩行空間の確保、歩車道段差の解消、バリアフリー対応型のインターロッキングブロックの採用等、誰もが歩いて楽しいみちづくりを進めています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
13	防災訓練	防災訓練というのは、市としてやるものなのか。	<p>防災訓練を行う機関としては主に消防署と市があげられます。消防署は初期消火や救助、応急救護の訓練などを行い、市は備蓄機器の取り扱いの訓練、各関係機関を含めた総合防災訓練などを実施しています。</p> <p>また、地域福祉活動推進協議会(地域社協・福祉の会)は要援護者対策事業として安否確認の要領確認のため、訓練を実施しています。</p> <p>さらに、自主防災組織が発災初期における消火、安否確認及び、避難所の開設、運営のための訓練を実施しています。</p> <p>災害が発生した場合適切な行動ができるように、それぞれの役割分担に応じた訓練を実施しています。</p>
14	防災	マンションの管理組合で防災などを進めてほしいというように指導しているというが、今実際に、やっているのか。	<p>マンション等の集合住宅については、管理組合等があり、そのなかで同意が得られれば、比較的容易に防災に関する組織を組織化できることから、市では共助の取り組みの一つである自主防災組織設立を促しております。</p> <p>具体的には、管理組合の会合や防災訓練が行われる際、依頼に応じて防災課職員が出向き防災講話を行い、自主防災組織の有効性や必要性などを伝え、意識啓発に取り組み、設立を促しています。</p>
15	車止めのポール	中央公園とか遊歩道のところに、車止めのポールができていますが、もし災害があった場合、誰が開けるのか。もし地震などがあった時に、車椅子が入れないのではないかと。近くの民生委員さんや地域の方に持っていただくことはできないか。	<p>中央公園の出入口につきましては、平時から正面口、東口、南口等において車いすが通過できる幅が確保されています。また、遊歩道の出入口についても、一部、車いすでは通りにくい箇所がありますが、通行できる幅は確保されています。通りにくい箇所については遊歩道の改修にあわせて通りやすい幅を確保していきたいと考えています。災害時の避難の際、中央公園の出入口、遊歩道等で通りにくい箇所については、地域の皆様のご協力により通行し、避難いただきたいと思います。</p>
16	アンテナの設置	千川小の体育館にアンテナがあるが、非常に電波が悪い。災害時避難をした場合に、携帯を使いたいとか何か情報を得たいときには、対応できるように改善して欲しい。	<p>避難所内における携帯電話などの使用場所の検討を行っていきます。また、市では災害時において情報収集・提供など通信体制の確保は重要であることから、通信手段として携帯電話電波のほか、インターネット回線等様々な手段を研究していきます。</p>
17	雪かき	雪かきについて、行政側で少し手をかけていただけませんか。消防団にも入っているが、消防団にも依頼が来ていなかったが、こういうこともできるのではないかと。	<p>降雪の際は、職員と委託事業者で、駅前等交通量の多いところについて、除雪を行っています。人員体制に限りもあるため、住宅街や急ぎの場合などにつきましては、地域の皆様で助け合いの上、除雪にご協力頂きたいと思っております。また、消防団は、いつでも火災現場に出動できるように消防団詰所の除雪と、消防水利を確保するため、担当地域の消火栓・防火水槽の除雪を行っています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
18	タウンミーティング	今日のような大雪の日に、タウンミーティングをやること自体がどうなんだというような意見もあった。	今回のタウンミーティングを開催するにあたり、天候の状況から、実施について検討しましたが、市報等で市民の皆様事前に周知していたこと、また今回は地域別タウンミーティングということで参加者が会場周辺に多く住まわれていることなどから、開催いたしました。天候の影響で、参加いただけなかった方も多くいらっしゃったかと思いますが、タウンミーティングは様々な形で年に6～7回開催しています。また、タウンミーティングは様々な形でご意見を伺う機会がありますので、ぜひご意見をお寄せください。
19	中島飛行機跡地	中島飛行機の跡地の東工場の一角に、唯一残っている変電所をメモリアルな建物として活用し、残してもらったほうがいいのではないかと。	東京都の整備計画では、当該地は樹林地として整備されることとなり、残念ながら当該建物については、解体・撤去される予定との報告を受けています。都に対しては、過去の歴史を踏まえ、場所性や平和の尊さなど戦争の悲惨さを次世代に伝えていく拠点となるよう解説板等の整備を要望しています。
20	跡地の変電所	市が主導をして、住民と一緒に管理をしたり、一定の歴史的な資料館にしたり、あるいは市民が寄ってちょっとした憩いの場にするなど、活用できたらいいのではないかと。市が都から借りてやってもらったらいいのではないかと。	歴史資料に関しては旧西部図書館跡に市の歴史的資料の収集・保管機能を集約した歴史資料館の開設を準備しています。また、拡充される公園には、多世代の利用を想定した良好なコミュニティ空間の整備を要望しています。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	討議時間が少ない。議題を事前に調査し、中味の濃いタウンミーティングを期待。
2	市長と一緒に考える場なので、みんなでまるくなって顔が見えるスタイルで“考え合う”形だと更に良かったのではないかなと思います。行政がからんだ意見交換会なども、前に行政の方が並んでしまうと要望のみ、そしてそれにひとつずつ応えていただくのみ、という感じで、横のつながりや“考え合う”“相談し合う”という雰囲気では全くなくなってしまう気がして、もったいないなあと感じてしまいました。
3	タウンミーティングに初めて参加した。皆さんの討論を通して、八幡町や武蔵野市がかかえている問題点を把握することができた。
4	雪の中、28人もの方が参加されてよかったです。市の職員さんは地域に出てきて住民の声を聞いて下さい。最近はやい人が出てきているように感じています。
5	市長さんと間近でお話を聞くこと、話すことができてよかった。

Town Meeting

第54回 市民と市長の タウンミーティング

<開催日時> 2月15日(土)
午後2時～4時

どなたでも参加できます。
私たちのまちのこと
一緒に話し合いましょう!!

<主なテーマ>

1. 新コミセン1周年を迎えて
2. 安全・安心なまちづくり

<会場>

八幡町コミセン2階
住所:八幡町3-3-16
TEL:0422-54-0169



<その他>

- ◆申込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆備考 お車でのご来場はご遠慮ください。

【主催】八幡町コミュニティ協議会・武蔵野市

一問い合わせ先—
武蔵野市役所 市民活動推進課 市民相談係
TEL0422-60-1829 FAX0422-51-2000

第54回 市民と市長のタウンミーティング

テーマ1

～私たち地域のモデルになるコミセンめざして～

新コミセン1周年を迎えて



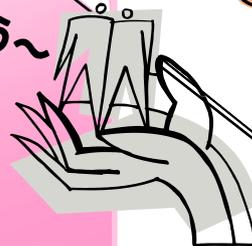
八幡町コミセン



テーマ2

～私たちのまちのこと、一緒に話し合いましょう～

安全・安心なまちづくり



当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市民活動推進課、または各市政センターにお届けいただくか、またはFAXで市民活動推進課(0422-51-2000)にお送りください。

第54回

地域別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成26年7月

武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)